

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	スポーツ社会学		
担当者(Instructors)	松村 雄樹	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

スポーツの現状とその課題について、社会学的視点から学習する。そのため、前提となる社会学的な考え方を学習し、スポーツ現場で起こっている諸現象について、社会学的立場から批判的、実証的に説明や分析を行いながら課題と展望を明らかにすることを旨とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	プレゼンテーションやグループディスカッションを中心とした講義を実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本講義で取り扱う内容と授業の進め方について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	スポーツとナショナリズム	スポーツと国家がどのように結びついてきたのかを歴史から振り返り、その功罪を考える。	<input type="checkbox"/>
第3回	スポーツとメディア	スポーツとメディアがどのように結びついてきたのかを歴史から振り返り、その功罪を考える。	<input type="checkbox"/>
第4回	スポーツとドーピング	ドーピングがスポーツからなくなならない背景を考える。	<input type="checkbox"/>
第5回	スポーツと賭け	スポーツにおける八百長や賭博問題を考える。	<input type="checkbox"/>
第6回	スポーツとフリーガニズム	なぜ、スポーツ場面でフリーガンは起こるのだろうか。その背景にある要因を考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	スポーツとジェンダー	スポーツにおけるジェンダー・バイアスが引き起こす問題を考える。	<input type="checkbox"/>
第8回	スポーツとセクシュアリティ	スポーツにおける性別二元論が引き起こす問題を考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	スポーツと身体の表象	スポーツにおける身体の表象に関わる問題を考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	スポーツとハラスメント	スポーツで起こる様々なハラスメントについて考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	スポーツと体罰	スポーツでなぜ体罰がなくなならないのか、その原因を考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	スポーツとグローバル化	スポーツがグローバル化することによって引き起こされる問題を考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	スポーツと環境	スポーツと自然環境との関係を考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	スポーツとテクノロジー	テクノロジーの発達によりスポーツはどう変化していくのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ「社会とスポーツの関係を考える」	社会の中にあるスポーツに関わる様々な問題に目を向け、改めてスポーツの功罪を考える。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

スポーツに関わるニュースを読む(毎週1時間程度) 予習課題を実施する(毎週1時間程度) 授業後、課題内容について自分で調べまとめる(2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ルーブリックに従い、課題レポートを添削・評価し返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	社会の中で起こっているスポーツに関わる様々な問題について説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	社会の中で起こっているスポーツに関わる様々な問題について自分の意見を論理的に述べることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内試験：期限内に提出したレポートで出欠を確認するとともに、その内容およびプレゼンテーション等によって評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	よくわかるスポーツ文化論改訂版 井上俊・菊幸一編著 ミネルヴァ書房	978-4-623-08839-3
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		